

# 耕作放棄地の解消に向けて

農地部長 賀山 仁司

農業委員会では、耕作放棄地の解消に取り組んでいきます。

10年ほど前から雑草が生い茂る農地が、町内に目立つようになりました。『どうにかせんといけないのだが…』というだけで毎年終わっておりまして。ところが今年の春、ある農業委員さんから『さつまいもを植えてみてはどうか。』という

声があり、委員会で協議して国道9号線沿いの耕作放棄地のよく目立つ坂上集落の入り口の田園1枚にさつまいもを植えて、栽培してみようということに決定しました。

6月15日、農業委員が草刈りとその処理をし・耕耘・畝たて・マルチかけと全員が汗を流して準備しました。6月28日、南小学校の児童と先生そして地元の人々の協力でさつまいもの苗を800本を植えました。



猪の被害防止に備えて電気柵の設置・数回の草刈り・草取りを重ねてさつまいもが実りの秋を迎えることが出来ました。10月20日、地元の児童・一般の人々の協力でコンテナ17杯分のさつまいも



で出来ました。『今後このままでは、また草が生えてしまふし何か作付け出来ないものか。』ということになり地元認定農業者に相談して、麦茶用の麦を栽培することにしました。来春には、坂上集落の入り口が麦畑になることを農業委員会では楽しみにたいへん喜んで

おります。さて、全国には38万<sup>ヘクタール</sup>平成18年の調査)の耕作放棄地が、岩美町においても年々増加する傾向にあり対策に苦慮しております。農林水産省では、このことが最大の悩みとなっております。自給率の向上ということからも農地を荒らさないで欲しいものです。農業分野にもいろいろ問題がありますが、まず『自分の農地は自分で守るんだ。』という気持ちになって頂きますようお願いいたします。

を収穫しました。その後、参加者全員で収穫したさつまいもを焼き芋にして食べました。夏には、同じ坂上地内で背高あわ立ち草等の生い茂る中にさつまいも畑があるような状況でありました。さつまいも畑の管理に通う中で、地元の地主の方々から農業委員会に『この一帯の草を何とかしてくれませ

んか。』等の相談があり、委員会で協議の結果、地元の建設業者の協力で建設機械を借りて、農業委員が重機を運転し割安価格で3m近くにも伸びた背高あわ立ち草の処理をすることが出来、草刈りの後耕耘も完了しました。

